

受入団体名：京都府立堂本印象美術館

プロジェクト名：堂本印象美術館広報プロジェクト

募集人数

10名

<活動期間：2024年10月1日～2025年1月10日　活動日数：15日以上>

<活動日or 活動パターン>

■週1日程度・定例 ⇒ 原則火曜日5限の予定。
授業予定や企画の進捗により増加の可能性あり。
授業以外のタイミングではWEB上でやり取りをします。

<活動の流れ>

日時	活動内容
10/01(火)	顔合わせ・活動内容の確認・スケジュール確認
10/08(火)	「福田豊四郎」展内覧会に参加(13時30分～15時)
10/15(火),22(火)	美術館の紹介とスケジュール作成
10/29(火)	試作版コンテンツ発表会
11月中	広報コンテンツ作成 コンテンツ配信先の選定・依頼・交渉
12月中	広報コンテンツの完成・納品 配信先でのコンテンツ配信
<参考> 10/9～11/24	「福田豊四郎」展 開催期間 それ以後は年内休館の予定

<主な活動場所>
堂本印象美術館・立命館大学

<キャンパスからの交通手段>
徒歩

<活動に必要な費用>
なし

<参加の姿勢>
チームへの信頼と敬意を持ち、
インプットとアウトプットを繰り返して
チーム全体で良いものを作る
気概があると嬉しいです。

<コミュニケーションの手段>
□電子メール　□LINE
■電話　　　　　■その他(Slack)

<活動のテーマと主な内容>

美術館を知らない人のための紹介コンテンツを作って発信する

堂本印象美術館は、日本画家の堂本印象が個人で創設した美術館です。

美術館のデザインや展覧会の企画はいつも来館者の方に楽しんでもらっていますが、大きな美術館と比べれば規模も小さく、知名度も高くありません。これまでシチズンシップ・スタディーズでは、美術館の広報記事の作成や、来館者獲得のキャンペーン企画の実施を行ってきました。それでもなお、美術館のことを知らない人や、見たことはあるけど足を踏み入れたことのない人が沢山いるのが現実です。

そこで今年の活動は、皆さんが美術館の良いところを見つけ、美術館を紹介するコンテンツを制作し、それを配信することで、1人でも多くの方に美術館を知ってもらおうと考えています。

今回のプロジェクトのミッションは下記の2つです。

①堂本印象美術館を紹介するコンテンツを作り上げること

②作り上げたコンテンツの配信先を新規開拓すること

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

堂本印象美術館は立地こそ立命館大学衣笠キャンパスの正面ですが、来館者の内訳を見ると10代、20代の方の来館は全体の1割程度しかありません。

また他の授業に参加しても、あるいは立命館大学のOB、OGの方と話をして「見たことはあるけれど入ったことがない」という方がたくさんいる状況です。

そこでまずは美術館の存在を知ってもらい、少しでも興味を持ってもらえるように、美術館の魅力を見つけ出し、それをコンテンツとしてまとめ、外に発信する力と感性を学生の皆さんと磨き上げたいと思い、今回のプロジェクトを企画しました。

<学生が期待できる学び>

このプロジェクトでの具体的な活動は【堂本印象美術館を紹介するコンテンツの作成】と【コンテンツの配信先の開拓】です。

美術館の魅力は何か、人々の興味や関心を得るにはどのようなコンテンツを作れば良いのかを考えて作り上げること、そしてコンテンツを効果的に発信できる場所を探し、人々と交渉し、実際に発信まで行うことは、いわゆる宣伝やプロモーションの仕事そのものです。

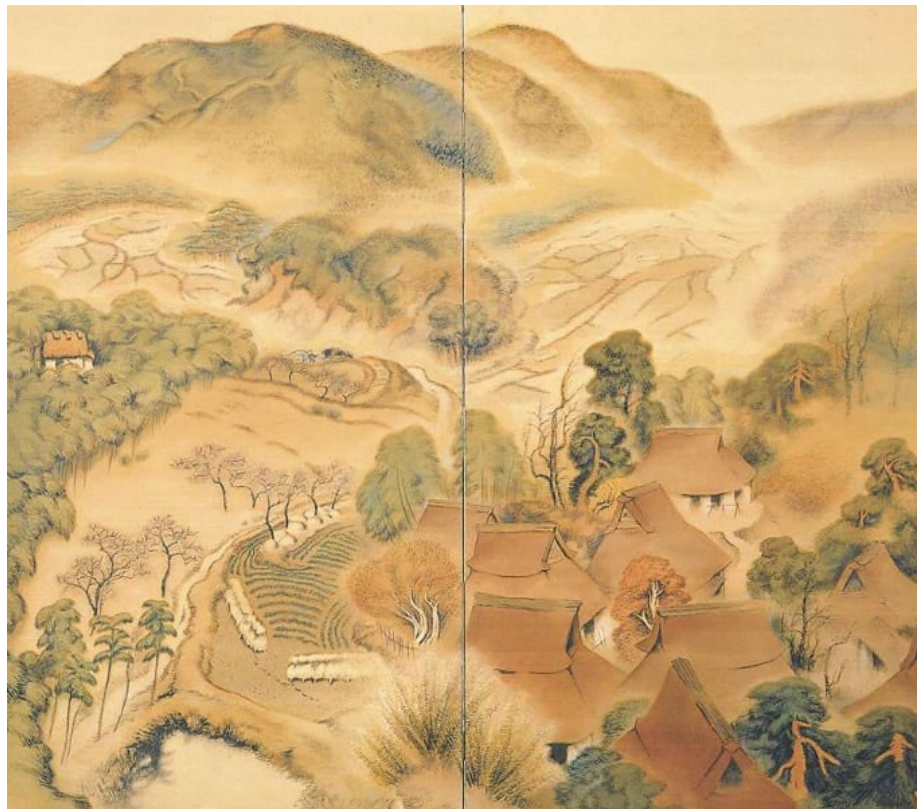
活動を通じて学生の皆さんには、コンテンツ制作とプロモーションの実務を経験していただき、物事の魅力や価値を見つける力や、それを形にして世に送り出す力、企画をやり遂げる力を学んでもらえると考えています。

堂本印象と美術館のこれまで：略歴

1891年	京都市上京区に生まれる
1910年 19歳	京都市立美術工芸学校卒業 西陣織の図案家となる
1918年 27歳	京都市立絵画専門学校入学
1919年 28歳	第1回帝展に初入選
1952年 61歳	初めての渡欧
1961年 70歳	文化勲章受章
1966年 75歳	堂本美術館開館
1975年 84歳	逝去



堂本印象と美術館のこれまで：代表作品



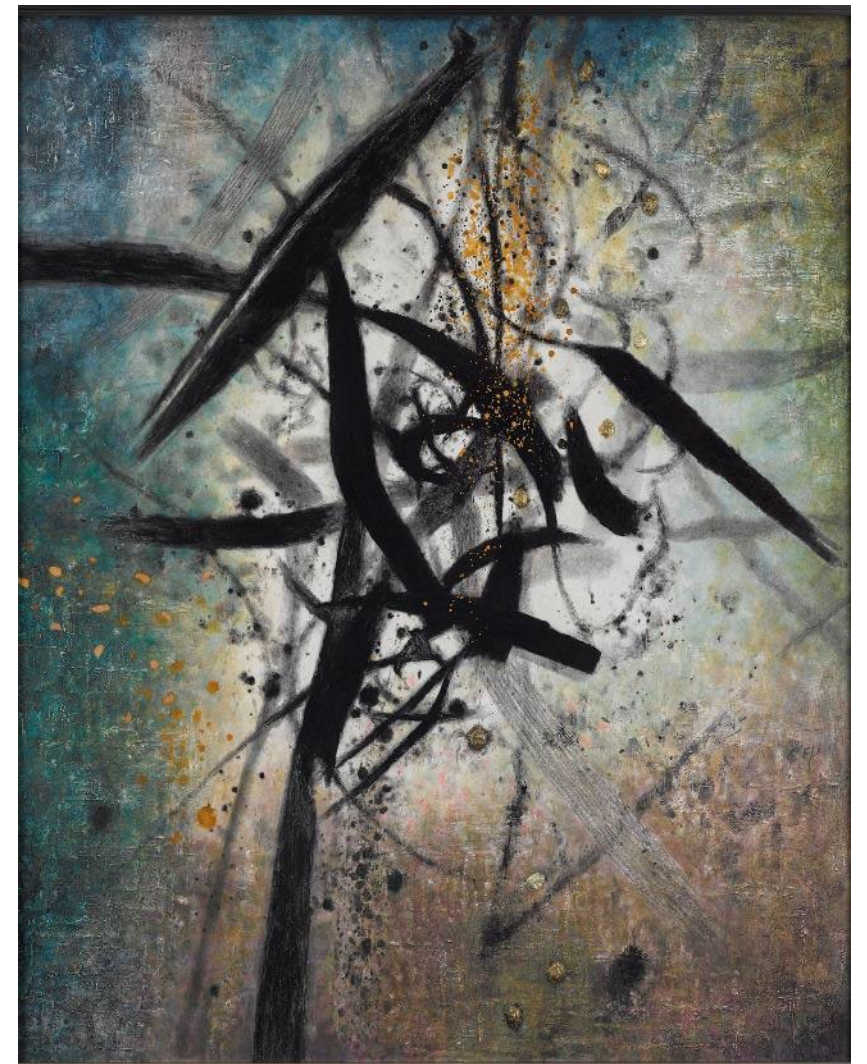
《深草》 1919年(28歳)



《木華開耶媛》 1929年(38歳)



《疑惑》 1954年(63歳)



《交響》 1961年 (70歳)

堂本印象と美術館のこれまで：美術館の誕生

1966年「堂本美術館」として開館

○個人が設立した美術館

○建物からドアノブまですべてが
堂本印象のデザイン

○渡欧の際に目にした宮殿や
芸術家個人の美術館を参考

1992年「京都府立堂本印象美術館」へ

○作品、美術館、財産が京都府へ寄贈

2024年 開館してから58年が経過

○指定管理者制度により

公益財団法人京都文化財団が管理運営



《開館当時の美術館外観》1966年

堂本印象と美術館のこれまで：美術館の誕生



《現在の美術館外観》



《美術館ロビー》

立命館大学との取り組み：映像制作



美術館紹介動画
日・英・中3か国語対応



堂本印象紹介動画
落語研究会協力

立命館大学との取り組み：展覧会チラシ制作

Kyoto Prefectural **第2回 野外 工芸美術作家展**

INSHO-DOMOTO Museum Of Fine Arts

2021 **10/9 土** The 2nd Open-Air Craft Artist Exhibition

11/23 水祝

【入場 無料】

休館日：月曜日（ただし11月22日は開館）
時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
会場：京都府立堂本印象美術館庭園
主催：京都府、京都府立堂本印象美術館、京都工芸美術作家協会
助成：一般財団法人地域創造
後援：京都新聞

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。ご来館前にホームページなどで最新情報をご確認ください。

本チラシは、立命館大学の授業「現代社会とボランティア」で学生と美術館の共同により作成しました。

京都府立 堂本印象美術館
KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

— 第2回 — **野外 工芸美術作家展**

京都府立堂本印象美術館
Kyoto Prefectural INSHO-DOMOTO Museum Of Fine Arts The 2nd Open-Air Craft Artist Exhibition

堂本印象美術館の庭園にて、野外工芸美術作家展を開催いたします。
緑豊かな庭園には堂本印象デザインの椅子が点在し、自然の中でゆっくり散策と芸術鑑賞が楽しめる空間となっております。

We will hold an Open-Air Craft Artist Exhibition in the garden of Kyoto Prefectural INSHO-DOMOTO Museum Of Fine Arts. In the lush gardens, INSHO-DOMOTO designed chairs are dotted, making it a space where you can enjoy art slowly in nature.

出品作家プロフィール (Artist Profile)

▼伊砂正幸 ISA Masayuki
1969年 金沢美術工芸大学美術学科 (日本画) 卒業
1993年 京都市立文化芸術会館にて、グループ展「BAKU」に出品 (以後毎年) 第39回日展特選
2007年 現在 京都工芸美術作家協会会員 / 京都日本画協会会員

▼丹下裕史 TANGE Hirofumi
1991年 京都府立芸術大学卒業
1999年 京都府立工芸美術会館にて、新日展現代クラフト展出品
1999/2013年 京都工芸美術作家協会 協賛出品
2017年 陶器 2人展 (京都府立美術館) 土屋文子
2021年 現在 京都工芸美術作家協会会員

▼片山雅美 KATAYAMA Masami
1984年 京都工芸美術展 新人賞 (伊・仏・海外評価)
1997年 京都府立文化芸術会館にて、グループ展「BAKU」に出品 (以後毎年) 第39回日展特選
2007年 現在 京都工芸美術作家協会会員 / 京都日本画協会会員

▼松本健宏 MATSUMOTO Takehiro
1992年 京都府立芸術大学卒業
1998～2004年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
1999年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2010年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2019年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2020年 現在 京都工芸美術作家協会会員

▼加藤敬 KATO Takashi
1987年 大阪芸術大学工芸学科卒業
1999年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2002年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2007年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2009年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2009年 現在 京都工芸美術作家協会会員

▼山本啓二 YAMAMOTO Keiji
1964年 山口県生まれ
2003年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2004年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
2014年 京都府立工芸美術会館にて、作品を制作
現在 京都工芸美術作家協会会員 / 工芸美術創会会員

【バス】「立命館大学前」下車すぐ
○JR京都駅より市バス50、JRバス立命館大学経由
○京町町駅より市バス19、JRバス立命館大学経由
○阪神西園寺より市バス立命館大学前
○京阪三島駅より市バス1215.51.59
○地下鉄四ツ宮(四ツ宮)駅より市バス1252.55

※当館には駐車スペースはありません。 ※There is no parking lot in our museum.

insho_domoto
DOMOTO_insho
inshoDomoto

beyond 2020
京都文化力

京都府立 堂本印象美術館
KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

第2回野外工芸美術作家協会展

立命館大学との取り組み：広告制作



美術館への来館促進を目的とした
美術館前のバス停への広告掲出

立命館大学との取り組み：広告制作



美術館・堂本印象作品をモチーフにした衣装の製作と
館内で撮影したコンテンツ制作

立命館大学との取り組み：広告制作

SNS用記事の制作



Instagram



X | Twitter

立命館大学との取り組み：広告制作



ミュージアムショップ用POP制作

立命館大学との取り組み：環境整備



館内設備のメンテナンス

<活動紹介>

これまでの活動現場での取り組みなど、プロジェクトや団体プログラムについて理解が深まる情報を、写真や注釈などを含めて、ご記入ください。

この部分にお示しいただいた内容を、そのまま受講ガイドに掲載いたします。

別途作成される際はMicrosoft PowerPointのファイルを送信願います。

印刷は白黒でいたしますが、ウェブでのPDF配布版はカラーで提供します。